

2025年(令和7年)5月15日

公益財団法人北海道サッカー協会  
第3種登録チーム 各位

公益財団法人北海道サッカー協会第3種委員会  
委員長 大石橋 計 幸

競技規則「ベンチ入りできる人員」の解釈と参加申込データ追加提出について(依頼)

日頃より、当委員会の事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、第3種年代の、北海道内のほぼすべての大会において、開催要項「競技規則」に「ベンチ入りできる人員は14名(チーム役員5名、選手9名)を上限とする」と記載しております。大会によって、選手登録数は制限無し、25名以内等の差異があり、追加登録も、リーグ戦は可、短期間のカップ戦等は不可等の違いを設けています。そして試合前に先発11名、交代要員9名を特定したエントリー用紙を提出していただいております。

このたび、第3種委員会にて、これまで明確に定義してこなかった「チーム役員5名」の解釈の仕方、エントリー用紙書式の不備について再確認をし、当該チームには参加申込データの追加提出をしていただくこと、下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

ご不明な点がございましたら、大石橋までお問合せください。

記

- ・従来、参加申込データ指導者欄に記した指導者5名のみがベンチ入りできる、または、その5名以外でも当該チーム指導者であれば、つまり当日指導者数が5名以内であれば全員ベンチ入りできる、という異なる2つの解釈が存在し、曖昧であった。
- ・また、大会によっては、エントリー用紙にベンチ入り指導者の名前を明記する欄がなく、また、指導者欄があってもすでに名前が印字されており当日不在の指導者名が削除されていない、または印字されていない指導者名を追記しないままに提出されている(エントリー用紙の指導者欄に名前のない指導者がベンチ入りしている)、という状態が散見される。
- ・中学校部活動の拠点校方式が整備され始め、選手・指導者の在籍中学校が10余校、指導者数が10名以上という中体連加盟チームも発足する時代となった。実際に、2025年度U-13北海道カブスリーグ3部では、HKFA事務局との確認のもと、6名以上の指導者登録可と周知し、一部チームから、参加申込データの再提出をしていただいた。

↓

- 今年度(2025年度)まで、開催要項「指導者のベンチ入り5名まで」という文言から、参加申込データの指導者入力欄を5名分としてきた。次年度(2026年度)以降、道・ブロック・地区カブスリーグ戦において、ベンチ入りする可能性がある指導者を6名以上登録したいチームは、2シート(以上)の参加申込データの提出をすることとし、その旨を開催要項に明記する。
- リーグ戦以外の、中体連大会、クラブ選手権大会、地区カブス決勝大会、ブロックカブス決勝大会、その他地区FA主催のカップ戦等は、短期間で終了することも鑑み、参加申込データに記した指導者5名のみ、ベンチ入りすることができるものとする。なお、当委員会は、FS大会については言及しない。
- つまり、長期間開催となるリーグ戦においては、年間を通じてベンチ入りをする可能性のある指導者すべてを登録していただき、試合の都度、ベンチ入りできる者は、その登録済の指導者の中からの5名以内とする。
- 2025年度は、すでに開幕をしているリーグ戦がほとんどであり、再度の参加申込手続ではなく、6名以上の指導者登録を希望するチームは、新たな指導者情報を入力した2シート目(以降)の参加申込データを、5月中に以下へご提出していただくよう、ご協力をいただきたい。このデータに基づいて、すでに発行されているプログラム等に名前が記載されていない指導者もベンチ入り可、と断言できる状況となる。
  - ・U-15北海道カブスリーグ1部&2部/U-13北海道カブスリーグ1部&2部(3部は対応済) → 大石橋
  - ・U-15ブロックカブスリーグ/U-13ブロックカブスリーグ → ブロックカブスリーグ実行委員長
  - ・U-15地区カブスリーグ/U-13地区カブスリーグ → 15地区FA第3種委員長
- 試合前に提出するエントリー用紙には、ベンチ入りする指導者の名前をもれなく記入するよう、ベンチ入りしない指導者の名前が印字されている場合はもれなく削除するよう、ご協力をいただきたい。指導者名を記す欄がない書式のエントリー用紙を用いている大会においては、余白に指導者名をもれなく記入するよう、ご協力をいただきたい。(2026年度当初の大会参加申込時期までには、第3種委員会において、指導者欄を設けたエントリー用紙を整備し、選手同様に年度途中で指導者を追加登録することの可否を明確にする。)